

## 著者プロフィール

---

### 田中司朗 Shiro Tanaka

京都大学大学院医学研究科臨床統計学 特定教授，博士（保健学），日本計量生物学会 責任試験統計家，京都大学医学部附属病院特定助教，同大学医学研究科特定講師および准教授を経て，2017年2月より現職。

糖尿病，小児血液がん，骨粗鬆症などの疾患領域にて臨床試験に参画。京都大学大学院では，「臨床試験」，「臨床試験の統計的方法」の講義を担当し，2014年度ベストティーチャー賞を受賞。医師向けのテキストとして「短期集中！オオサンショウウオ先生の医療統計セミナー 論文読解レベルアップ30」（羊土社，2016）を執筆。震災後に，放射線生物学から疫学までの科学的根拠をまとめた「放射線必須データ32」（創元社，2016）を編集。

### 末海美穂 Miho Kimachi

北海道大学医学部卒業，北海道各地で腎臓内科・総合内科医として勤務。2009年より北海道大学大学院医学研究科（内科II・腎臓グループ）で糖尿病腎症の基礎研究に従事。2012年より京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻博士課程に入学し，臨床研究を開始。2015年より特定助教として，病院に勤務する医師を対象とした臨床研究遠隔学習プログラムの配信を担当。

### 清水さやか Sayaka Shimizu

NPO法人 健康医療評価研究機構研究事業部，京都大学大学院医学研究科地域医療システム学講座 特任助教。医学部卒業後，臨床医として7年間勤務。臨床研究を志し，2013年京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻後期博士課程に入学。2015年より特定助教として，病院に勤務する医師を対象とした臨床研究遠隔学習プログラムの配信を担当。2019年4月より現職。



#### オオサンショウウオ先生プロフィール

臨床試験や疫学研究など，統計関連の業務や教育に従事しています。このような生物統計の専門家は，日本ではオオサンショウウオのような天然記念物とされています。著者が属する京都大学は，数少ない生物統計家の生息地です。